

水稻後継者のスキルアップを支援!!

～農業機械に関する研修会を開催しました～

山武農業事務所改良普及課 令和6年7月17日発

山武農業事務所管内の水稻経営体の後継者の多くは年齢が若く、就農から間もないため、水稻栽培に関する知識と技術の習得が課題となっています。そこで農業事務所では、スタディクラブ「山武水稻生産者クラブ」を昨年度立ち上げました。今年度は、水稻経営で使用する農業機械を学ぶために、農機メーカーのメンテナンス対応の県内統括部署に視察研修会を6月28日に開催したところ、7名が参加しました。研修では、実際の機械を使用したメンテナンス方法の実習、ほ場の管理実績をパソコンやスマートフォン上で確認できるシステムの導入方法やVRを活用した農作業安全の講義を行いました。生産者からは「グリスを注入する頻度はどれくらいか」や「ボルトやナットを締め付ける強さはどの程度か」等、活発に質問が出されました。当事務所では、引き続き水稻経営の発展を目指し、後継者の更なる技術習得を支援していきます。



農作業事故のVR体験



田植機を前に説明を受ける様子